

コネクター通信



令和2年 11月 17日発行

校長 杉本 順

担当：田中・田崎・松山・塚本

秋が深まり、冬の足音が聞こえてきました。新型コロナウイルスはおさまる気配も見せず、まだまだ「これまでの生活」にはほど遠い毎日です。御家庭でも外食やお出かけ等もまだまだ思うようにはできず、子供たちもストレスや不満を感じているのしょうね。学校でも子供たちの笑顔が少しでも多く見られるように、見守っていきたいと思います。

かんたんお手伝いのすすめ

コロナ禍で在宅時間が増えている子供たちが、無理なくやれる「お手伝い」の紹介です。「お手伝いをやらせてください」と学校の先生たちは言うけれど、どんなお手伝いをやらせればいいのかという保護者の方の参考になればいいのですが・・・。

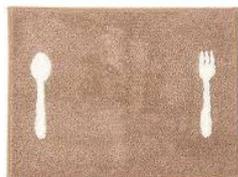
☆5つのポイント

- ①毎日続けられるもの
- ②簡単、シンプル
- ③安全
- ④忘れても、失敗してもOK
- ⑤家族がずっと見守ってなくてもいい

「やり切る」「役立つ」
「感謝される」
「仕事の喜びを味わう」
ことが習慣化されるはず。



カーテン、ブラインドの開閉



箸、スプーン並べ



家族を起こす



靴 揃え



洗濯もの 外すだけ

はがし口から
簡単にはがせる



ラベルはがし



「生活動作の教え方」

「学校に入学してつけて欲しい力は？」と入学前の就学相談の時に保護者にお聞きすると・・・その答えの断トツ1位は「身辺処理の力」です。

＜生活動作は見よう見まねでは身に付かない＞

私たちは見よう見まねでいつの間にか獲得してきた「生活動作」ですが、子供たちによっては身に付けることにとても苦勞をしています。

＜ひとつひとつの動作を分析して「コマ送り再生」で教える＞

着替え、排泄の始末、食事、おしぼりをしぼる、ファスナーの開け閉め、マスクを着ける、ペットボトルのふたの開け閉め・・・あらゆる生活動作は複雑な手指腕体の動きをしています。

＜例1＞『ウンチの後の拭き取り』

①トイレットペーパーを30センチ程出す。(巻き取るのはハードル高し)

②紙切り板の部分を手で押さえて切る

③太ももの上で2, 3回折りたたむ。

④折り畳んだ紙を利き手の平に親指とそれ以外で持つ ※見えないおしりの穴に紙を当てることも難！



＜衣服の着脱：支援の方法＞

①支援者は子どもの後ろにポジションニング(例外：ボタンのとめ外しは向かい合う)

②二人羽織りのように後ろから子供の手を持って、子供が自分でできた！と勘違いするように援助する。(一緒に袖を持つ、引っ張る等)

☆体全体の動きにも視点をあてて、コマ送り再生で支援する。

(例：床に座って靴下の着脱をする時は足先だけでなく、両足の膝の動きも含めて自分が無意識でやっている動作をコマ送り再生して教える)

＜参考文献＞

鴨下賢一 著 「発達に気になる子へのスモールステップではじめる生活動作の教え方」中央法規

子供たちのアイデア等を活かした公園づくり—品川区の取り組み紹介—

品川区は公園作りに「子供たちのアイデアを！」ということで、2019年秋から2020年夏にかけて役所でワークショップを開催して、アイデアを出し合いました。本校の中学部3年生の2名とコーディネーターも参加しました。公園課の方が本校に来校して、PTAの役員に聞き取りをしたり、教員にアンケートもとりました。「特別な支援が必要な子供たちが楽しめる公園を作りたい」という強い思いを感じました。「遊具の順番待ちがわかりやすいように足型マークやベンチを並べよう！」「イラストがあると遊び方がわかりやすいかなあ」「かくれ家みたいな場所があると音の刺激が苦手な子どもも楽しめそう」・・・『子どもたちのアイデア等を活かした公園づくりワークショップ アイデアブック』(品川区防災まちづくり部公園課編)が出来上がりました。実は「大井坂下公園」(JR 大森駅近く)の改修工事が近く予定されています。予算が通れば、今回の子供たちのアイデアが活かされる公園が早速実現します。これからも改修や新設される公園に子供たちのアイデアが盛り込まれるそうです。

目黒区民、大田区民も是非！みんなで「チェック＆ゴー」です。